

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TODAY'S TAKASAKI		公表日 2026年3月5日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	高校生に対して狭い印象はあるが、活動する部屋やスペースを分けるなど工夫している。	身体が大きい利用者さんが多い為、時々狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の人数が増えてきて、気持ちが不安定になる児童に1人職員がつくことができている。	職員の休みが出てしまうと、支援が手薄になってしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	更衣室、仮眠室、台所をきちんと分け、子どもも理解している。利用児以外は入ってはいけないことを説明している。	一般的な家の作りなので、バリアフリー化はできていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		送迎に出ない職員が、毎日清掃をしている。	大きな利用児や高校生など高学年が多いので、状況に合わせて、テーブルの配置を変えているが、大きなテーブルの幅が長いので、少し小さめのテーブルがあると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		午睡と活動部屋を分けている。	部屋を分けているが、活動部屋に残る職員が減ってしまう。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向けの評価表の集計を行い、内容を職員間で共有・把握している。	今後も、利用児が楽しい、やってみたい活動を取り入れられるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎朝のミーティングにて意見の交換などできる時間を設けている。	月に一度、可能であれば季節行事や課題についての会議ができれば良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		改善されている部分とされていない部分がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	定期的に必要な研修を行っている。外部でも行っている。	今後も内容を充実できるように行う。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者の普段の様子や、保護者との面談や送迎時の会話などから、ニーズに沿った支援方法を検討している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		常に情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		共有する時間を取り、行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		利用者の様子や行動はこまめに職員間で共有しているが、標準化されたツール等は活用できていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画の同意をいただく時に、保護者に説明を行い、今、必要な支援について話し合いながら行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		前日までに予定を相談している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		ローテーションで作成者を日ごとに割り振っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		家内が難しい場合など、戸外の活動に切り替えて対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		業務開始時に行っている。	連絡が活動時間の直前にくることもあるので、職員間でメッセージの確認をより意識して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎終了後に、職員間で意見交換しています。翌日の支援に活かせるように情報の共有化をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		連絡ノートや全体記録にて行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		児童の状態について職員間で情報交換し合い、3か月に一回のペースでモニタリングを行い状況を把握している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			地域活動ができる環境を検討したい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		食事、遊び、工作作業などの際は、子どもの好みや意見を尊重して行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		個別支援計画を作成している児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	利用者が通っている学校等とは、送迎時や会議等で、情報交換に努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時の申し送りや、定期的な情報の配布物を通し、情報の共有化をしている。	スタッフ間での確認、ダブルチェックをしてミスのないように努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		児童発達支援事業所を利用している場合は、その利用者の活動の見学や情報交換を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		移行支援会議等に参加し、情報共有に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		地域との交流があまりなく、関わる機会を設けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		児童館などの施設を利用できていないため、交流がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	保護者からのニーズがあれば相談員や関係機関に繋げられるように情報収集を行っている。	あまりできていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		送迎時や面談にて、保護者の意見を聞き、子どもたちの様子を見て、反映させている。	日々の連絡ノートにも記載をお願いしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		内容について細かく説明し、同意のサインを得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時や面談等で、保護者の困り感を汲み取り、場合によっては、助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		昨年、11/24(月)ジョイナスにてBBQ開催。	参加人数が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		玄関の目立つ場所に苦情箱の設置している。	送迎時等でアドバイス頂いた内容は改善に努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		季節毎にその時期に取り組んだ活動の様子をお便りにして配布している。	時期は未定だが、LINEを活用して発信を検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		日々、各職員が十分配慮して支援を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		本人に直接聞いたり、おたより等を使用し、情報提供を行い、保護者のニーズに合わせて提供している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	招待する行事は企画していない。	地域住民との交流の機会はない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		年に4回、避難訓練を行っている。	今後も、家族への周知を高めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的な避難訓練を実施し、おたよりにて保護者へお知らせしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		投薬依頼書を作成してもらうなどして対応している。	急な症状の時も、事前に把握に努めている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		おやつ等でアレルギーがある場合は、代替食を提供している。	医師の指示書までの対応は行っていないので今後、検討したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		年に1回（株）スプラボとして研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		災害の時の引渡しカードなど、取組み内容を保護者に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットに関する会議を開き、今後の対応を協議している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な虐待研修をしている。	研修内容が、似たような内容になってしまう。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束に関する記録や会議等、今後の対応を協議している。		